

2026年度（一社）奈良県バスケットボール協会 基本方針

《基本方針》

- 1 スポーツ団体ガバナンスコードに基づき、適正なガバナンスの確保のために、県協会組織及び加盟団体等のガバナンス構築をさらに推進し、バスケットボールファミリー全員がバスケットボールの価値を高めるために協力する。
- 2 スポーツの主役はプレーヤーという「プレーヤーズセンタード」を念頭に、プレーヤーの心身の健全な発達に寄与するとともに、暴力行為等の根絶に向けたコンプライアンス意識を醸成する。
- 3 生命・健康の安全を最優先とし、バスケットボールの歩みを止めず、バスケットボール活動ができる環境を提供する。
- 4 第85回（2031年）国民スポーツ大会の開催に向けて、中長期的視点による組織基盤強化とともに、将来有望な選手の支援体制を継続し、指導者のレベルアップや育成センター・リーグ戦の充実を図る。

《重点実施事項》

- 1 管理運営担当
 - (1) 総務部
 - ア 社員総会・（常務）理事会の円滑な運営
 - イ 暴力行為等の根絶に向けたコンプライアンス意識の醸成
 - (2) 財務部
 - ア 協会全体の適切で透明性のある会計処理を維持
- 2 渉外事業担当
 - (1) 渉外部
 - ア 協賛企業等の積極的な開拓
 - イ 広報活動や会報作成による情報発信の推進
 - (2) 事業部
 - ア Wリーグ事業の企画と運営
 - イ バンビシャス奈良と各カテゴリーとの連携事業の企画と運営
 - ウ 協賛スポンサー事業及び寄付活動等収益化事業の推進
- 3 競技運営担当
 - (1) 競技部
 - ア 2031年度開催の国民スポーツ大会実施に向けた組織強化
 - イ 大会運営マニュアル作成
 - ウ 競技会における重大なトラブル防止策の徹底

- (2) T O部
 - ア 全国T O委員会の活動
 - イ 近畿T O委員会の活動
 - ウ 全国統一T Oマニュアルの共有
 - エ 県内各カテゴリーT Oの普及、育成及び強化
(各チームに1人以上のT O基礎講習修了者の在籍)
 - オ 近畿ブロックT Oの普及、育成及び連携強化
 - カ T Oのライセンス制度導入 (JBA)を受けて、県T Oライセンス取得者の登録推進 (2031年の国民スポーツ大会実施に向け組織体制強化)
 - キ Bリーグ公式記録員の現地移行化、ライセンス制度化を見越し、県内での普及、育成及び強化
- (3) 記録報道部
 - ア 協会に関する情報のWEBページへのスムーズな掲出
- (4) 審判部
 - ア 審判員の登録推進 (発掘・育成)
 - イ 判定基準の統一 (マニュアルを作成)
 - ウ 審判インストラクターの登録推進 ((2031年の国民スポーツ大会実施に向け組織体制強化)
- (5) 3x3部
 - ア 3x3奈良県大会の発展に努めるために、チーム及び競技者の登録推進

4 強化統括担当

- (1) 強化部
 - ア 成年男子
 - ① U18世代の育成と招聘
 - ② 地元大学 (天理大学) へ協力要請
 - ③ 3x3の普及と強化
 - ④ コーチ陣の育成と専門性の強化
 - イ 成年女子
 - ① U18世代の育成と招聘
 - ② 地元大学 (奈良学園大学と天理大学) へ協力要請及び協力企業の模索
 - ③ U16カテゴリーとの連携と一貫指導体制の構築
 - ④ コーチ陣の育成と専門性の強化

ウ 少年男子

- ① U15、U16 カテゴリーとの連携
- ② U16DC を活用した育成及び強化
- ③ U15 からU18 カテゴリーとの連携と一貫指導体制の構築
- ④ コーチ陣の育成と専門性の強化

エ 少年女子

- ① U15 とU16 カテゴリーとの連携
- ② U16DC を活用した育成及び強化
- ③ U15 からU18 カテゴリーとの連携と一貫指導体制の構築
- ④ コーチ陣の育成と専門性の強化

(2) 指導者養成部

- ア コーチライセンス制度の普及と促進
- イ 各種講習会と研修会の充実
- ウ 女性コーチの育成
- エ キッズ関連事業の充実
- オ スポーツインテグリティ確保のための指導者の資質向上及び教育・啓発活動の促進

(3) ユース育成部

ア U12

- ① U12 育成センター事業の定着
- ② U14・U16 との連携、選手の発掘及び育成
- ③ 指導者の育成、育成マインドの定着
(正しい技術の習得と楽しさを強調した指導)
- ④ 国スポターゲットエイジ育成事業の計画・実施

イ U14

- ① U14 育成センター事業の定着・強化
- ② U12・U16 との連携、一貫指導の構築
- ③ 選手の発掘・育成及び強化
- ④ 指導者の専門性の育成、育成マインドの定着
(技術や基本の習得と自らの判断でプレーする習慣)

ウ U16

- ① U16 育成センター事業の定着・強化
- ② U12・U14 との連携、一貫指導の構築
- ③ 選手の発掘、育成及び強化
- ④ 指導者の育成、育成マインドの定着
(技術や基本の習得と自らの判断でプレーする習慣)

- (4) 医科学部
 - ア 競技力向上、障害予防及び体力向上のための研修会開催の検討
 - イ ユース育成部と連携して本県競技者の体格、体力、スキル等のデータ収集を検討
- 5 アンダーカテゴリー
 - (1) U12
 - ア チーム登録及び競技者の登録推進
 - イ 各年度1チーム増、1チーム1人増
 - ウ ターゲットエイジの普及及び育成
 - エ 暴力・暴言の根絶、モラル向上
 - (2) U15
 - ア U12からU16への継続指導
 - イ 登録、移籍についての周知徹底
 - ウ U15各種大会(ジュニアウィンターカップ予選及びU15クラブ選手権、リーグ戦)の運営体制の確立
 - (3) U18
 - ア ウィンターカップ予選及びリーグ戦の運営体制の確立
- 6 一般カテゴリー
 - (1) 社会人連盟
 - ア 社会人連盟のより良い運営
 - ① 適切な会議の開催
 - ② 大会運営の効率化
 - ③ 役割分担の明確化
 - イ チーム登録及び競技者の登録推進
 - ① 登録推進の告知
 - ② 登録に対する支援
 - ウ WEBページの充実
 - (2) バンビシャス奈良
 - ア B.LEAGUE ONE 参入に向けた体制整備
 - ① 売上向上(4億円以上)
 - ② チーム強化(B2プレイオフ進出)
 - ③ アリーナ建設計画推進
 - イ アンダーカテゴリー体制整備、その他
 - ① U18、U15運営体制確立
 - ② アリーナ建設に向けた協力体制